

2024年度 廃止申請予定JIS／廃止申請予定JASO 一覧

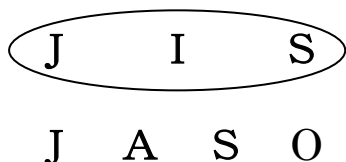
(公社)自動車技術会

<JIS 6件>

No	規格番号	規格名称
1	JIS D 5204: 1993	自動車用スタータピニオン及びリングギヤの諸元
2	JIS D 5814: 1988	自動車用バキュームスイッチ
3	JIS D 1028	自動車排気ガス中の一酸化炭素測定方法(アイドリング時)
4	JIS D 8006	自動車整備用一酸化炭素測定器
5	JIS D 1037: 2011	二輪自動車－最高速度試験方法
6	JIS D 5815	二輪自動車－ステアリングロック

<JASO 9件>

No	規格番号	規格名称
1	JASO-TP 01001:2001	自動車用ソフトウェアの開発ガイドライン (MISRA文書の翻訳)
2	JASO-TP 01002:2017	自動車－自動車用C 言語利用のガイドライン(第2版)－ガイドライン及び MISRA 準拠のための逸脱許可((MISRA文書の翻訳)
3	JASO-TP 04002:2005	自動車用ソフトウェアの開発プロセス水準に関するガイドライン
4	JASO-TP 08002:2009	自動車用低圧電線端子及びコネクタの試験方法
5	JASO-TP 17001:2017	自動車－自動車用C 言語のガイドライン - (MISRA-C)の遵守のための逸脱ガイド ランス(MISRA文書の翻訳)
6	JASO F 107	自動車部品－ばね板ナット
7	JASO M 601	プラスチック部品の電気めっき
8	JASO-TP 04004	自動車42V配線の識別色使用ガイドライン
9	JASO D015-1	自動車－クロックエクステンションペリフェラルインターフェース(CXPI) 第1部 :規格概要とユースケース定義



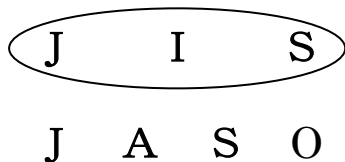
廃止提案書

2024年7月11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JIS D5204:1993 自動車用スタータピニオン及びリングギヤの諸元
2. 廃止の背景と理由	この規格は、自動車に用いるスタータのピニオン及びリングギヤのモジュール、圧力角、歯数及びその他の歯車諸元について規定したものである。この規格は1968年に制定され、その後1993年に関連国際規格ISO8123及びISO9457-1、9457-2等の制定を受けて見直しを実施されたが、その後は特にメンテナンスされることなく確認として維持されてきた。しかしながら、今般自動車技術会耐環境試験法分科会の委員（25社、回答23社）にアンケートを取ったところ、いずれでも活用されておらず、廃止しても特に支障のないとのことであり、廃止を提案する
・3. 廃止後の対応	<u>完全廃止（移行規格なし）</u>
4. この規格を引用している法規 ・規格の有無	____ 有 ・ <u>無</u> ____ (有の場合) 規格・法規 ____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	特になし

以上



廃止提案書

2024年7月11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JIS D5814:1988 自動車用バキュームスイッチ
2. 廃止の背景と理由	この規格は、自動車のエンジンその他の装置の制御用、または警報用として負圧検出に用いるバキュームスイッチについて規定したものである。この規格は 1978 年に JASOD403-79 (バキュームスイッチ) として作成されたのち、1986 年当時用途別にスイッチ類が 13 件制定されていたことから再編された際に、内容を大きく変更することなく、1988 年に JIS として制定されたもので、その後は特にメンテナンスされることなく確認として維持されてきた。しかしながら、今般自動車技術会耐環境試験法分科会の委員 (25 社 : 回答 23 社) にアンケートを取ったところ、いずれでも活用されておらず、廃止しても特に支障のないとのことであり、廃止を提案する。
・ 3. 廃止後の対応	<u>完全廃止 (移行規格なし)</u>
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	____ 有 ____ (有の場合) 規格・法規 ____ <u>無</u>
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	特になし

以上



J A S O

廃止提案書

2024年8月7日
パワートレイン部会

1. 対象規格	JIS D1028 自動車排気ガス中的一酸化炭素測定方法 (アイドリング時)
2. 廃止の背景と理由	<p>本規格は JAS07116 を原案とし ISO3929 との整合性を図るために、火花点火機関を備えた自動車のアイドリング時における排出ガス中に含まれる一酸化炭素濃度を測定する方法について規定したものであり 1983 年に制定された。</p> <p>本規格は現在では活用例がほとんど無く、役割を充分果たしたものと考え、廃止を提案する。</p> <p>なお、本規格を活用していた主に整備工場で用いられる測定機器については、現在は「自動車検査用機械器具技術基準」に準拠するものとなっており、本規格は参照していない。</p>
・ 3. 廃止後の対応	完全廃止（移行規格なし） 移行（規格番号：xxxx）；
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (有の場合) 規格・法規 JIS D 8006
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	今回、JIS D 8006 と D1028 の 2 つを同時に廃止提案するが、相互に参照しているのみであるので、同時に廃止すれば問題は生じない。

以上

J I S

J A S O

廃止提案書

2024年 7月 31日

二輪部会

1. 対象規格	JIS D1037:2011 二輪自動車—最高速度試験方法
2. 廃止の背景と理由	<p>この規格は、二輪自動車の最高速度試験の試験方法について規定したものである。</p> <p>この規格は、当初 国際規格 ISO 7117 として定められたものを基に日本の実態に合わせ、JIS 規格として 1963 年に策定されたものである。その後、ISO 7117:2010 が発行された為、整合化させる改正をしている。</p> <p>2024 年度定期見直し結果、国内メーカーは当規格を活用して無く、影響がないということが確認され、また代替規格 (ISO 7117:2010, Motorcycles – Measurement method for determining maximum speed) が有る為、廃止する。</p>
・ 3. 廃止後の対応	<p>完全廃止 (移行規格なし)</p> <p>移行 (規格番号: _____)</p>
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<p><u>有</u> ・ 無 _____ (有の場合)</p> <p>規格・法規 _____</p> <p><u>JIS D0010 二輪自動車—仕様書様式</u></p> <p><u>JIS D0109 二輪自動車—用語</u></p> <p><u>JIS D1024-2 自動車の加速時車外騒音試験方法—第2部: Lカテゴリ</u></p>
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	<p>ISO 7117 の国際整合規格であるため、元の ISO 7117 を活用するよう促す。</p> <p>(JIS D1024 には対応国際規格: ISO 7117 記載有り)</p>

以上

J I S

J A S O

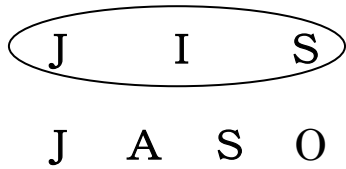
廃止提案書

2024年8月7日

パワートレイン部会

1. 対象規格	JIS D8006 自動車整備用一酸化炭素測定器
2. 廃止の背景と理由	<p>本規格は IS03930 との整合性を図るために、火花点火機関を備えた自動車の整備点検時の一酸化炭素濃度を測定するための測定器について規定したものであり 1983 年に制定された。</p> <p>本規格は現在では活用例がほとんど無く、役割を充分果たしたものと考え、廃止を提案する。</p> <p>なお、本規格を活用していた主に整備工場で用いられる測定機器については、現在は「自動車検査用機械器具技術基準」に準拠するものとなっており、本規格は参照していない。</p>
・ 3. 廃止後の対応	<p>完全廃止（移行規格なし）</p> <p>移行（規格番号：xxxx）；</p>
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<p><u>有</u> ・ 無 _____ (有の場合) 規格・法規 JIS D 1028 _____</p>
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	今回、JIS D 8006 と D1028 の 2 つを同時に廃止提案するが、相互に参照しているのみであるので、同時に廃止すれば問題は生じない。

以上



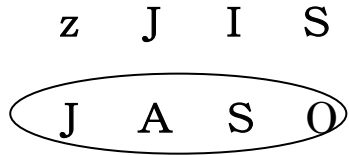
廃止提案書

2024年7月26日

二輪部会

1. 対象規格	JIS D5815 二輪自動車—ステアリングロック
2. 廃止の背景と理由	ステアリングロック関係の日本の車両認証法規は、UNR62が基準となっており、JIS D5815は引用していない。JIS D5815を社内基準の参考としているメーカーが2社有るが、現在の運用はUN-R62を参照しているため、廃止の同意を得た。また今後当該JISを参照する必要が無いことから、廃止しても問題は無い。
・ 3. 廃止後の対応	完全廃止（移行規格なし） 移行（規格番号：_____）
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	有 ・ 無 (有の場合) 規格・法規_____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



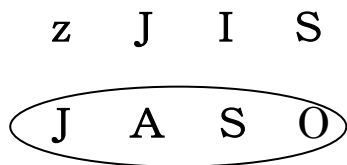
廃止提案書

2024年 7月 11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JASO-TP 01001:2001 自動車用ソフトウェアの開発ガイドライン (MISRA 文書の翻訳)
2. 廃止の背景と理由	・調査の結果、活用されていない (14 社回答中 14 社) ことが判明した。
・ 3. 廃止後の対応	<u>完全廃止 (移行規格なし)</u> 移行 (規格番号: _____)
4. この規格を引用している法規 ・規格の有無	____ 有 ____ <u>無</u> ____ (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



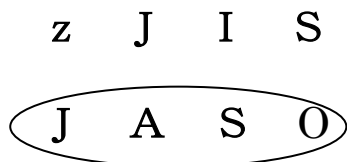
廃止提案書

2024年 7月 11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JASO-TP 04002:2005 自動車用ソフトウェアの開発プロセス水準に関する ガイドライン
2. 廃止の背景と理由	・調査の結果、活用されていない（14社回答中14社）こ とが判明した。
・3. 廃止後の対応	<u>完全廃止（移行規格なし）</u> 移行（規格番号：_____）
4. この規格を引用している法規 ・規格の有無	____有____ <u>無</u> ____ (有の場合) 規格・法規_____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



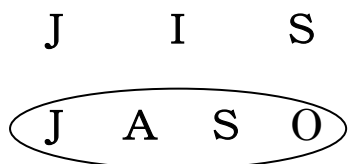
廃止提案書

2024年 7月 11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JASO-TP 01002:2017 自動車—自動車用C 言語利用のガイドライン(第2版) —ガイドライン及びMISRA 準拠のための逸脱許可 (MISRA 文書の翻訳)
2. 廃止の背景と理由	・調査の結果、活用されていない(14社回答中14社)ことが判明した。
・3. 廃止後の対応	<u>完全廃止(移行規格なし)</u> 移行(規格番号: _____)
4. この規格を引用している法規 ・規格の有無	____ 有 ____ <u>無</u> ____ (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



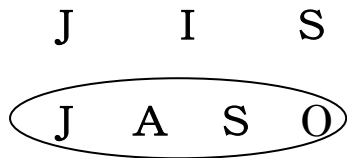
廃止提案書

2024年7月11日

電子・電装部会

1. 対象規格	JASO TP-08002:2009 自動車用低圧電線端子及びコネクタの試験方法
2. 廃止の背景と理由	<ul style="list-style-type: none">本規格は JASO D 616 を実態に合わせて改正する為の準備として制定、2011年に JASO D 616 に反映済前回の定期見直し時は社内規格の引用標準、解説に記載していた会社があった為、確認としたが、2024年度 JIS・JASO 定期見直しの結果、本規格は17社中15社で活用されていないことが判明。活用している2社については、参考としての活用の為、廃止しても不都合がないことを確認評価規格については、JASO D 616 で代用できると考える
・ 3. 廃止後の対応	完全廃止（移行規格なし） 移行（規格番号：_____）
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	____ 有 ・ 無 _____ (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	無し

以上



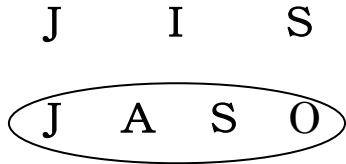
廃止提案書

2024年 7月 11日

電子・電装部部会

1. 対象規格	JASO-TP 17001:2017 自動車-自動車用 C 言語のガイドライン (MISRA-C)の遵守のための逸脱ガイダンス (MISRA 文書の翻訳)
2. 廃止の背景と理由	<ul style="list-style-type: none">調査の結果、ほとんど活用されていない (17 社中 14 社) ことが判明した。活用中の 3 社も参考資料(和訳)程度で、無くても業務に支障がないとのことで廃止に同意済み。
・ 3. 廃止後の対応	<u>完全廃止 (移行規格なし)</u> 移行 (規格番号: _____)
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<u>有</u> <u>無</u> (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上

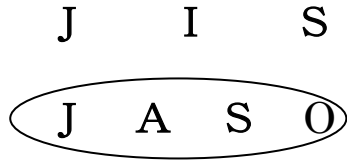


廃止提案書

2024年 8月 8日
材料部会

1. 対象規格	JASO M601「プラスチック部品の電気めっき」
2. 廃止の背景と理由	<p>活用している会社が少ない(3社) ことに加え、JIS と ASTM に同等規格※が存在している。</p> <p>活用している会社からも上記規格への切替え可能と回答が得られたため廃止する。</p> <p>※JIS H8630、JIS H8502、JIS H8501、ASTM B72、ASTM B553</p>
・ 3. 廃止後の対応	<p>完全廃止 (移行規格なし)</p> <p>移行 (規格番号: _____)</p>
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<p>____ 有 ・ <u>無</u> _____</p> <p>(有の場合)</p> <p>規格・法規 _____</p>
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	なし。

以上



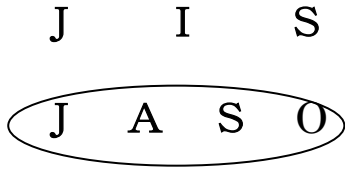
廃止提案書

2024年8月8日

要素部会

1. 対象規格	F107 自動車部品—ばね板ナット
2. 廃止の背景と理由	この規格は、自動車に使用するタッピンねじ用ばね板ナット（以下、ナットという。）についての規定である。 23年活用状況を調査したところ、活用もしくは引用しているOEMはないことが分かった。JIS/JASO 定期見直しの判断基準により廃止とする。
・ 3. 廃止後の対応	<u>完全廃止（移行規格なし）</u> 移行（規格番号：_____）
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	____ 有 ・ <u>無</u> _____ (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



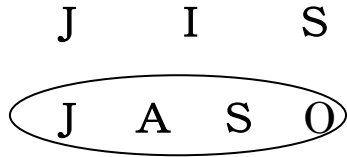
廃止提案書

2024年 8月 7日

パワーエレクトロニクスシステム部会

1. 対象規格	JASO TP-04004 自動車 42V 配線の識別色使用ガイドライン
2. 廃止の背景と理由	<p>・ 60V 以下についてハーネスは識別を必要としておらず、昨今動向のある 48V についても同様。そのため廃止の影響はないと判断。</p> <p>また、活用状況が 1 社であり、今後増える見込みがないことから廃止を提案する。尚、現在活用中の 1 社については社内基準化等対応をお願いしている。</p>
・ 3. 廃止後の対応	<p>完全廃止（移行規格なし）</p> <p>移行（規格番号： _____）</p>
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	<p>_____ 有 ・ 無 _____</p> <p>（有の場合） 規格・法規 _____</p>
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上



廃止提案書

2024年7月12日
部会：車両通信部会

1. 対象規格	JASO D015-1:2021
2. 廃止の背景と理由	活用している会社はあるが、参照のみであり、今後、規格を変更・更新する予定は無く、役目を終えている。メンテナンスの手間を削減することにもつながるため廃止としたい。
・ 3. 廃止後の対応	完全廃止（移行規格なし） 移行（規格番号：_____）
4. この規格を引用している法規 ・ 規格の有無	____ 有 ・ 無 _____ (有の場合) 規格・法規 _____
5. 4. によって想定される影響・ 対応法	

以上